

公立幼稚園(神明・木幡)の廃園は大問題！

宇治市には3つの公立幼稚園(神明・東宇治・木幡)があります。

市教育委員会は、9月13日の市議会文教福祉常任委員会に、神明幼稚園と木幡幼稚園の園児が少ないことを理由に、2園を2025年3月末で廃園すると報告しました。

市教委は責任
果たすべき

保護者ニーズ全園で「3年保育」、「送迎」 「預り保育」を実施せず廃園はありえない

市教委は、2020年3月末に大久保幼稚園を入園児が減少し定員割れが続いているからとの理由で廃園しました。

大久保幼稚園の廃園前には公立幼稚園の今後を検討するとして、幼稚園の保護者などにアンケートを行いました。

日本共産党議員団は、大久保幼稚園の廃園以前から、園児が集まらないのは「全園での3年保育、預り保育、送迎など保護者ニーズにこたえていないからだ」と指摘し実施を求め続けてきました。

保護者からは「3年保育」や「預かり保育(幼稚園終了後も夕方まで預けられる)」、「通園時の送迎」が無いため「入園したくても1年も待てない」、「遠くて通えない」などの意見が多く、実施を求める声が多数出されていました。

しかし、市教委は保護者の願いに応えず、大久保を廃園し、東宇治だけで「3年保育」を、神明と木幡で「預り保育」を試行し効果を見るとしましたが、未だに結果の検証も報告もしていません。

公立幼稚園の役割は後回し 園児数減少で廃園は異常

今回、党議員の質疑で明らかになったのは、市として幼児への公教育の考え方や公立幼稚園の果たす役割は横に置いて、園児の人数が少ないというだけで廃園を決めた異常な事態であるということです。

私立幼稚園は全園が「3年保育」や「送迎」を実施し、2歳児からの4年保育を始める園も出ています。

市教委は、ひとクラス10~15人の園児が必要としています。

3年保育を試行実施した東宇治幼稚園では、表のように3歳児が入園しています。ニーズは明らかです。

保護者ニーズにこたえず、公教育の機関であるのに、教育機会均等の役割を果たさず園児が減少したので廃園するなど大問題です。

東宇治幼稚園3歳児の推移

2019年	23人
2020年	17人
2021年	19人
2022年	12人

日本共産党
宇治市会議員団

議員団だより 2022年9月25日号
宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内
TEL: 0774-22-3141 FAX: 0774-24-7884

ご意見・
ご相談は
こちらへ→



9月定例会 一般質問(10時開会予定)

■9月29日(木)

2番目 徳永 未来 議員

1. 市民生活の支援について
 - ①生活困窮者支援の充実について
 - ②物価高騰による生活支援について
2. 水道の広域化について



4番目 渡辺 俊三 議員

1. 京都府南部豪雨以降の災害対策について
2. 天ヶ瀬ダム1500トン放流の安全性について
 - ①宇治川堤防の安全性について
 - ②避難体制の整備について



■9月30日(金)

3番目 大河 直幸 議員

1. 統一協会と宇治市の関係について
2. 市民の移動手段の確保
3. 買い物弱者対策について
4. 公共施設と公共施設の跡地利用
 - ①城南勤労者福祉会館
 - ②平盛ふれあいセンター跡地



5番目 山崎 恭一 議員

1. 物価高騰への対策と支援について
2. 若い世代の定住支援について
 - ①教育費
 - ②住居
 - ③子育て
3. JR黄檗駅のバリアフリー化計画の進捗について



■10月3日(月)

3番目 坂本 優子 議員

1. 高齢者の暮らしについて
 - ①医療費2倍、国保負担増、介護の負担
2. 宇治市の農業について
3. 菟道ふれあいセンターの現状と今後の方針について



5番目 宮本 繁夫 議員

1. 新型コロナ対策について
2. 小中一貫校について
 - ①保護者や地域への説明責任について
 - ②「基本計画」について
3. 近鉄小倉駅周辺整備のその後について

